

八幡西区則松中学校 PTA 連合会

学校名 : 則松中学校

事業名称 : 第5回きずなプロジェクト

- ・被災地視察
- ・被災地特産品バザー
- ・SDGs 講演会

【 ソフト事業 ・ ハード事業 】

実施日時 : 令和5年10月7日(土)・10月18日(水)

場所 : 視察 : 大分県日田市小野地区
福岡県東峰村・福岡県朝倉市高木地区

講師 : 南阿蘇村役場 藤原 松男 防災官
笠 健 消防主任

謝 礼 : 0円

◇実施の目的

本校生徒会は、PTAと連携して、被災地の現状を知るとともに被災された方々に気になっていただきたいという思いを込め、令和元年度から継続して災害復興支援活動「第5回きずなプロジェクト」を立ち上げた。

◇事業の効果

視察・講演会効果

視察した生徒会代表が被災者の生声や被災現場を直接見聞きした内容をまとめ、10月27日(金)の文化祭で全校生徒に知らせた。また、全生徒に視察をさせることが望ましいが、生徒数が多いため講演会を通して被災者の声を届けた。これら文化祭や講演会を通して「中学生が出来ることは何か」を真剣に考えるきっかけとなった。体験者の声は、生徒の心を揺さぶり、感想文では防災意識の高まりが表現されていた。

バザー効果

10月18日(水)被災地特産品バザーに向け、前売り券の販売。保護者、地域の皆さま、各団体の皆さまのご協力のお陰で、715,950円を販売することができた。10月7日(土)被災地の視察の際、特産品バザーの利益を義援金として各3万円を被災地の方に直接手渡した。

◇事業写真



◇事業を振り返って

災害の少ない北九州市に住んでいるが、災害はいつ発生するか分からない。災害が起きたとき、「守られる中学生から、守る中学生」であってほしい。「中学生が出来ることは何か」と真剣に考える機会を与えられたことはPTA事業の大きな成果と思われる。

